

令和 2 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 遊佐厚生会

令和2年度 法人の事業報告

1. 経営の概要について

社会福祉法人遊佐厚生会は、社会福祉法人として、福祉サービスの提供主体として中心的な役割を果たすと共に、他の事業主体では対応できない地域の様々な福祉ニーズの充足を図り、地域社会に貢献していくことを目指しております。令和2年度においても法人経営の基本方針として7項目を掲げ、各施設ではこれらを踏まえ施設ごとの理念、方針、計画を持って経営にあたってきたところです。

一方、経営改善が喫緊の課題である中、令和2年度においては経営改善プロジェクトを立ち上げ、遊佐厚生会の法人経営の課題を分析し法人経営改善の方向性を見出す取り組みを実施しました。

月光園では、利用者の高齢化、重度化により医療的ケアが増幅していることやコロナ禍で面会等を制限したことが稼働率に影響しましたが、生活支援において、個別ケアの質を高めるためサービス担当者会議を開催したり、新型コロナウイルスについてはマスク、手洗い、消毒、換気を徹底し園内の環境整備に努め対応しました。

ゆうとぴいでは、就労継続支援B型の利用者は低調でしたが、生活介護の利用者は増えている状況です。生活介護については、生活意欲の向上や社会生活の自信につながるように努めました。

ゆうすいは、利用者の高年齢化は進んでいますが入所利用状況は、在籍者数は減少しましたが、延べ床数の年間稼働率は昨年度より若干上回りました。短期入所は、新型コロナウイルスの影響で前年度を下回っています。デイサービスについては、新型コロナウイルスの影響を受けましたが、年間を通しては利用者の増加につながりました。

にしだては、入所において平均年齢は高齢化しておりますが、退所後から新規入所までの時間を短くするように対応したことにより、年間稼働率は前年度より若干上回りました。新型コロナウイルスの感染拡大により、面会等の自粛制限が長引いているため、オンライン面会のシステムを整えました。

また、地域における公益的取り組みとして、認知症予防、支援等のため地域包括支援センターでは「認知症サポーター養成講座」を遊佐中学校2年生を含め7回開催しました。さらに、町内5つの小学校の全学年の生徒に絵本の読み聞かせを行い、認知症の理解を進める活動を行いました。

2. 法人経営について

評議員会は、定時評議員会 1 回、臨時評議員会 1 回、年間計 2 回開催しました。定時評議員会では、事業報告と前年度決算の承認、理事・監事の報酬等支給総額の決定等を審議し、決算（資金収支計算書）5 カ年推移等について報告をしました。また、臨時評議員会では理事の選任と新年度事業計画や新年度予算について協議しました。

理事会は、年間計 8 回の開催となりました。議案のうち人事案件では理事候補者の決定、評議員候補者の選定、評議員選任解任委員の選任、苦情処理委員の選任、本部事務局長の選任、施設長の選任など、事業案件では契約の締結、事業報告・事業計画など、予算等の案件では収支予算・補正予算・収支決算など、規程等の案件では、規程の一部改正等の議案を審議しました。また、定期的に理事長、常務理事より職務執行状況として各施設の利用状況や経営実績、重要事項の報告を行なっています。

議案数は、評議員会 5 件、理事会 29 件、計 34 件を提出し、全議案について原案どおり議決されました。

議案の内訳は、次のとおりです。

人事案件	9 件
事業案件	18 件
予算・決算・補正予算案件	4 件
規程等（改正・設定）案件	3 件

経営会議は、経営の健全化を図るため理事長、常務理事、各施設長、各課長の出席により毎月開催し、会計事務所の指導をいただきながら各施設の経営実態の報告、内容分析、協議等を行なってきました。

令和 2 年度の事業活動実績は、法人全体でサービス活動収益 1,240,519 千円、前年比 101.9% で 23,524 千円增收、サービス活動増減差額は△2,430 千円で前年比 6,529 千円増となりました。経常増減差額については 2,849 千円、前年比 4,967 千円増となりました。

収益では、介護保険事業において施設介護料、居宅介護料、居宅介護支援介護料について増となったものの、地域密着型介護保険料、介護給付費について

減となり、人件費についてその費用が増加しました。

*法人並びに各施設の決算状況は、別紙のとおりです。

3. 役員等人事管理について

法人役員の人事のうち、評議員は、小黒敏一氏（前月光園家族会会长）と佐藤義雄氏（前ゆうすい家族会会长）が辞任し、成澤茂氏（月光園家族会会长）と玉本浩昭氏（ゆうすい家族会会长）が新たに後任評議員として選任されました。

理事は、伊藤宏紀氏（にしだて施設長）と菅原聰氏（事務局長）の2名が退任し、本間淳子氏（学識経験者）と堀修氏（遊佐町総務課長）が後任理事として選任されました。

職員採用については、正規職員2名を新規採用としたほか契約職員から正規職員へ3名の職員を登用しました。

職員の人材育成については、職種ごとの現任者研修、全国、地区、県規模の研修に派遣並びに内部研修を実施したほか、資格取得研修への派遣を行いました。

4. 苦情処理関係について

社会福祉法第82条の規定に基づき、5名の第三者委員で構成する「苦情処理委員会」を設置しております。

年度当初には委員会を開催して、各施設の状況などの報告を行っております。

また、家族等の方が多く参加する各施設行事に併せて苦情相談日を設け、利用者や家族等が気軽に申出ができるような活動を行いながら、苦情解決に対応いただきました。

月光園・ゆうすい・あいあい・ゆうとぴい・にしだての各施設で年間計10回の「苦情相談日」を開催いたしました。その苦情申出・受付状況は次のとおりとなっております。

令和2年度 苦情申出・受付状況

相談事項	月光園	ゆうすい等	ゆうとぴい	にしたて
介護に関するもの	2	0	0	0
看護に関するもの	0	0	0	0
金銭に関するもの	0	0	0	0
利用者同志に関するもの	2	0	0	0
施設サービスに関するもの	2	1	0	0
その他	0	0	0	0
計	6	1	0	0
申出利用者数	3	1	0	0

5. 情報開示について

事業運営の透明性を確保するため、社会福祉法や諸規程に基づく事業報告、収支計算書類等の関係書類を備え置いて、一般の閲覧に供するなど対外的な情報開示に適切に対応してきました。

また、法人ホームページ及び各施設の広報に決算等の概要を掲載し、全国社会福祉法人経営者協議会のホームページにも計算書類等の情報開示を行っており、透明性・信頼性に応えるよう努めてきました。

令和2年度 障がい者施設事業報告

経営の概要について

月光園における利用状況は、入所された方が7名、退所された方が4名、年度末に在籍されている方が73名でした。1年を通した1日の平均利用者数は69.8名、稼働率は99.7%となりました。前年度と比較すると1日の平均利用者数は0.4名の減という結果になりました。変わらず利用状況を示す数値の低下が続いています。今年度は、利用者の高齢化、重度化により医療ケアが増幅している流れに加えて、コロナ禍の影響で、面会・見学を含む施設への立ち入りを制限したことから、入所申込者のスムーズな受け入れができなかつたこと等が稼働率低下の要因となっています。

短期入所では、新型コロナウイルス感染症への対応により、年間稼働率84.3%と前年より10.5%低下しました。当施設では職員を含め、関係者への感染はなかったものの、在宅サービスゆえに、地域の感染状況に敏感に反応し、感染症予防対応による利用制限をしたことで、稼働率に影響がありました。

相談支援センターにおいては、相談件数1,365件で前年より162件の増、利用計画作成件数は65件で11件の増、モニタリング件数は299件で37件の増となりました。『カフェ おんりー・わん』はコロナ禍の中で開催できませんでした。特別養護老人ホームゆうすいが主催する、出張『認知症カフェ』に、障害部門として便乗しての開催も検討していきます。

ゆうとぴいは、1日の平均利用者数は生活介護が10.9名、稼働率109.2%、就労継続支援B型が3.2名、稼働率は31.7%となり、全体では14.1名、70.5%の稼働率となりました。利用状況として、生活介護の利用希望者が多いのに対し、就労継続B型の利用者が伸び悩んでいる現状です。引き続き利用者確保が課題となります。

障がい者施設全体の決算額は、サービス活動収益が486,267千円(496千円減)、同活動費用は471,658千円(392千円増)でした。従ってサービス活動増減差額は、14,609千円(888千円減)、経常増減差額においても17,409千円(3,534千円減)という結果となりました。

施設整備では、各施設において経年による設備の修繕、新型コロナウイルスに係る感染症包括交付金による備品購入などを含む施設整備を計画的に実施しています。

障がい者支援施設 月光園事業報告

1. 生活支援について

- ・ 個別ケアの質を高めるため、利用者や家族の意向や思いがニーズとして反映されるよう、情報の職種間共有がなされる機能的なサービス担当者会議の開催に努めました。
- ・ 利用者がひとりの人間として尊重され、身体的にも精神的にも心地よく過ごせる風通しの良いぬくもりのある施設づくりに努めました。
- ・ 新たに設置した「身体拘束適正化委員会」を中心として、身体拘束に関する職員の意識の向上に取り組み、現状把握とその改善について定期的に検討しました。

2. 医療と健康管理について

- ・ 利用者の高齢化・重度化が進む中、体調の変化を見逃さず、嘱託医・各医療機関と連携を取りながら、早期発見・早期治療、重症化の予防に努めました。
- ・ 新型コロナウィルス感染症予防対策として、職員・利用者にマスク、手洗い、消毒、換気を徹底し園内の環境整備に努めました。
- ・ 手軽にできる運動としてラジオ体操を実施し腰痛予防に努めました。衛生委員会ではチェックリストを使用し、9月と3月の年に2回、施設内巡回を行いました。また、開催時期に即した課題を話し合い、職員の健康増進や啓蒙活動に取り組みました。

3. 栄養管理と給食について

- ・ 季節感のある行事食を取り入れ、利用者に満足していただける食事づくりをめざしました。
- ・ 専門医の指示のもと、個々の嚥下機能・咀しゃく機能に合わせた形態を提供し、安心して食事ができるように努めました。
- ・ 他職種と連携を図りながらアセスメントを実施し、利用者の食生活のサポートを行いました。

4. リハビリ活動について

- ・ 利用者一人一人の要望に合わせたりハビリ計画書を作成し、機能維持や健康で楽しく生活する為に必要なプログラムを提案してきました。
- ・ 創作活動ではそれぞれの意向を尊重し、楽しく夢中になって取り組めるような様々な情報提供を行い、たくさんの個人作品を完成させることができました。
- ・ 生活介護や短期入所の方には、目標に対する個別のリハビリ時間を設け、より安心して生活を送っていただけるよう随時相談に応じてきました。

5. 職員研修について

- ・ 外部研修の開催情報を公開し自主的な参加を呼びかけ、オンライン研修にも積極的に参加しました。
- ・ 内部研修ではグループワークや実践的な感染症対応の研修を行い、専門職としての知識の習得や技術の向上を図り、職員のスキルアップに努めました。
- ・ 利用者の重度化により喀痰吸引等業務の必要性が高まり、生活支援員の資格取

得者を増やすため喀痰吸引等研修の参加に努めました。

6. 家族・地域との連携について

- ・ 新型コロナウイルス感染症予防対策の為、家族会事業は実施出来ませんでしたが、家族には面会時やハガキなどを利用し、利用者の近況を伝えるなどコミュニケーションを図り信頼関係を築きました。
- ・ ホームページはより見やすく、わかり易い情報の発信を心がけ、月光園だよりでは、施設生活の様子を家族や地域の関係者に紹介しました。

7. 災害防止活動について

- ・ 定期的に避難訓練及び防災設備器具の安全点検を行い、利用者と施設の災害時の備えに努めました
- ・ 職員の手順訓練を実施し、火災や不審者対応の手順方法の確認や、設備操作方法を覚え、有事に適切に使用できるよう備えることができました。
- ・ 夜間避難訓練を実施し、夜の状況を実際に体験することで、日中に行う想定訓練にはない現実的な訓練を行うことができました。

8. 短期入所サービスについて

- ・ 家族、医療機関、ケアマネジャーと連携をとりながら、緊急時の速やかな対応調整に努めることができました。
- ・ 新規面談・サービス担当者会議等において情報を共有し、利用者一人ひとりに合った居室環境の整備や生活の充実に努めました。
- ・ 余暇活動においては、それぞれの身体機能に合った内容で、体操や脳トレ、料理サークル等を行い、楽しんでいただけるよう努めました。

障がい者相談支援センター月光園事業報告

1. 相談支援事業について

- ・ 在宅で家族と暮らしていくために、また、ひとりでも地域で生活が出来るように、家族の負担やこれからの生活を考慮した上で、必要なサービスを利用できるように努めました。また、自分らしく過ごせるようなサービス等利用計画作成にも努めました。

2. 関係機関との連携について

- ・ 町内保健師からの連絡により、小さい時からより専門的な支援が受けられるよう情報交換し、児童発達支援事業所や特別支援学校と連携することで、適確な情報の共有と支援に努めました。

3. 相談支援の質の向上について

- ・ 今年度開催された各関係機関の集会や専門研修等はオンラインで開催されることが多く、オンラインの設備を整え行政や関係機関とのネットワークの構築に努めました。
- ・ 県相談支援部会の相談支援推進員となったことで、相談員としてのスキルアップにつながりました。

令和2年度 障がい者支援施設月光園利用者の状況

1. 市町村別状況

	鶴岡市	酒田市	遊佐町	庄内町	三川町	計
男	16	12	5	4	0	37
女	12	16	5	2	1	36
計	28	28	10	6	1	73

2. 入退所状況

入所		自宅	他の施設	病院	その他	計
	男	1	2	1	0	4
	女	0	0	3	0	3
	計	1	2	4	0	7
退所		自宅	他の施設	入院治療	死亡	計
	男	0	1	2	0	3
	女	0	0	0	1	1
	計	0	1	2	1	4

3. 年齢別利用者数

	~19歳	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	計		
男	0	1	1	3	7	21	4	37		
女	0	0	1	3	8	19	5	36		
計	0	1	2	6	15	40	9	73		
平均年齢			61.2 歳	最高齢			82 歳	最年少		25 歳

4. 外出・外泊状況(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外出	0	0	1	47	13	5	5	0	0	0	0	0	71
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5. 面会状況(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	23	37	31	66	62	68	64	64	35	37	35	38	560
人数	31	46	44	94	87	89	89	83	52	56	50	52	773

6. 主たる障害原因

	脳性麻痺	脳血管疾患	脊髄損傷	視力障害	難病	その他	計
男	6	14	4	1	1	11	37
女	11	11	0	2	3	9	36
計	17	25	4	3	4	20	73

7. リハビリ実施（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者人数	3,640	4,241	4,557	4,498	3,871	4,324	3,222	2,737	2,603	3,497	3,154	3,760	44,104

8. リハビリ項目別(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
機能訓練	1,266	1,422	1,500	1,508	1,478	1,596	1,057	946	759	1,001	966	1,174	14,673
手指訓練	89	186	192	189	184	189	137	149	87	160	167	178	1,907
言語訓練	319	417	396	425	410	455	303	283	229	313	274	329	4,153
関節可動域	447	457	456	479	477	467	368	398	352	392	352	463	5,108
音楽療法	639	804	973	942	454	601	543	121	495	710	553	621	7,456
ADL拡大	678	715	765	705	640	733	568	575	471	650	579	660	7,739
レク療法	1	1	1	2	6	17	7	3	1	2	1	2	44
運動療法	133	160	190	173	153	197	170	189	158	202	198	248	2,171
物理療法	68	79	82	72	61	61	67	73	51	67	64	85	830
自然療法	0	0	2	3	8	8	2	0	0	0	0	0	23

9. 施設内診療状況（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科回診	59	41	72	49	50	51	78	62	36	33	35	43	609
精神科回診	29	30	31	31	32	33	32	33	32	33	33	33	382
嚥下往診	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
注射・点滴	2	1	7	32	20	5	32	14	0	0	0	0	113
褥瘡処置	60	62	60	62	62	60	62	62	31	28	56	62	667
瘡処置	225	276	303	313	245	255	215	210	209	281	233	265	3,030
軟膏処置	653	679	656	677	537	589	460	523	479	544	480	517	6,794
疼痛	205	211	205	178	135	169	135	123	142	156	133	132	1,924
点眼	147	142	143	141	140	139	133	144	143	152	130	139	1,693
膀胱洗浄	101	118	101	98	103	93	92	92	99	101	80	90	1,168
浣腸60ml	0	0	0	0	1	1	1	0	1	2	1	1	8
排便坐薬	219	263	219	239	195	226	250	218	265	245	235	270	2,844
採尿	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	4
採血	6	54	1	3	11	6	10	70	6	7	13	4	191
導尿	3	4	6	2	1	2	7	3	1	2	1	3	35
経管栄養	618	711	785	802	676	763	690	666	622	825	696	807	8,661
留置カテーテル	155	162	155	174	180	169	169	180	186	178	156	162	2,026
気切処置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吸引	339	317	375	399	284	222	245	192	245	316	218	279	3,431

10. 入院状況（延日数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日本海総合病院	0	0	0	3	3	2	3	3	3	3	3	3	26
庄内余目病院	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
遊佐病院	4	3	1	2	4	5	4	2	2	1	0	1	29
その他	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	4
計	5	3	1	7	10	7	7	5	5	4	3	4	61

11. 通院状況（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
遊佐病院	3	4	3	4	4	6	10	5	3	4	5	6	57
日本海総合病院	5	6	9	8	6	10	9	7	11	6	5	9	91
佐々木歯科医院	2	1	6	0	2	2	4	1	6	0	0	1	25
庄内余目病院	1	1	1	1	3	0	0	1	2	1	1	2	14
その他	3	2	2	6	4	4	2	1	3	1	6	3	37
計	14	14	21	19	19	22	25	15	25	12	17	21	224

12. 障害支援区分状況（3月末現在）

	障害支援区分					平均障害支援区分
	3	4	5	6	計	
男	0	7	12	18	37	5.3
女	0	6	5	25	36	5.5
計	0	13	17	43	73	5.4

13. 短期入所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	10	26	47	46	49	47	49	42	3	31	42	41	433
延べ日数	39	101	153	162	157	144	182	157	34	148	128	135	1,540
稼働率(%)	26	65.2	100.7	104.5	101.3	96	117.4	104.7	21.9	95.5	91.4	87.1	84.3

令和2年度 障がい者相談支援センター相談件数等の状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
作成件数	15	3	9	5	4	2	2	11	0	9	3	2	65
モニタリング件数	30	15	31	28	16	27	34	17	30	28	16	27	299
相談回数	115	113	87	127	71	125	90	112	100	110	133	182	1,365
前年度作成件数	11	3	5	5	5	2	2	6	1	10	1	3	54
前年度モニタリング件数	25	14	27	21	13	24	29	19	31	12	14	33	262
前年度相談回数	91	110	119	111	92	67	114	105	97	100	93	104	1,203

令和2年度 ボランティア受入状況

〈団体の部〉

計 1団体 延 5名

敬称略

NO	ボランティア名	市町名	期日	活動内容	人數
1	遊佐中学校	遊佐町	12/24 (木)	心もち運動	5

〈個人の部〉

計 1名 延 2名

敬省略

NO	個人名	期日	活動内容
1	梅津幸士	2/24 (水)・3/17 (水)	傾聴 (オンライン)

令和2年度 実習・施設見学受け入れ状況

計 8名 延 8名

NO	月 日	個人及び団体 (敬称略)	摘要	人數
1	4月 20日	入所希望者	施設見学	2
2	5月 16日	ショート利用希望者	施設見学	2
3	11月 10日	入所希望者	施設見学	4

令和2年度 栄養管理状況

区分 月別	栄養量						給食費					
	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンB1 μg	ビタミンC mg	給食費 総額 円	1人1日 平均食費 円	1人1ヶ月 平均食費 円	給食延人数 人	
4月	1,845	68.4	49.4	612	9.0	510	1.08	87	1,811,480	901	27,019	6,034
5月	1,814	67.5	45.1	533	8.2	548	0.94	82	1,986,280	901	27,942	6,611
6月	1,836	68.3	46.2	552	8.2	503	0.93	82	1,971,400	902	27,047	6,560
7月	1,865	68.9	49.0	546	8.3	626	1.01	82	1,996,360	901	27,944	6,644
8月	1,850	68.0	46.5	535	8.1	466	0.92	71	1,895,940	902	27,961	6,306
9月	1,867	68.8	48.5	551	8.3	620	0.98	79	1,944,980	902	27,047	6,472
10月	1,857	68.8	48.3	543	8.3	649	0.95	79	2,044,060	901	27,943	6,803
11月	1,865	70.4	48.2	601	8.7	513	1.03	80	1,929,080	901	27,039	6,421
12月	1,879	69.7	51.3	563	8.4	635	0.94	78	1,950,860	900	27,904	6,502
1月	1,831	69.6	46.4	528	8.3	492	1.01	85	2,022,560	901	27,937	6,733
2月	1,846	68	47.6	578	8.6	708	0.94	83	1,853,740	902	25,250	6,167
3月	1,838	68.5	48.4	548	8.5	671	1.03	92	2,055,140	901	27,939	6,841
合計	22193	824.9	574.9	6690	100.9	6941	11.76	980	23,461,880	10,815	328,972	78,094
月平均	1849	68.7	47.9	558	8.4	578	0.98	82	1,955,157	901	27,414	6,508

1人1日当たり荷重平均栄養所要量					
エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンB1 μg
1849	68.7	47.9	558	8.4	578
82					

1人1日当たり給食費の割合			
朝食	昼食	夕食	
200 円	380 円	320 円	

令和2年度 防災活動報告

月 日	訓 練 名 称	訓 練 内 容
4月 28日	職員通報訓練	119番通報による災害時連絡網、火災一斉メールを使用した通報訓練を行う。対象者全職員
5月 28日	地震時通報避難訓練 昼間時想定 (消火器訓練) ※消防署立ち会い	昼間時、吹浦沖10kmでM6の地震発生想定 建物被害、停電、断水、けが人設定、安否確認メール送信 班別の役割分担にてそれぞれの動きを経験することが目的 消火器訓練 非常発電機起動訓練 同日、第一回防災会議開催
6月 18日	職員避難訓練 (手順訓練)	5人一組で3回の訓練を行う。*9月1日防災食提供 北側ボイラー室からの出火想定 終了後ポータブル発電機始動操作訓練 同日、第二回防災会議開催
8月 28日	職員通報訓練及び 避難訓練 (夜間実施)	南棟娯楽室からの出火想定 39名参加 実際の暗闇の中での避難を目的に開催。職員のみ参加 スモークによる視界制限や障害物配置による避難誘導を経験する
12月 10日	職員避難訓練 (手順訓練)	5人一組で2回の訓練を行う 非常用発電機起動訓練 北側ボイラー室からの出火想定 不審者対応訓練(さすまた使用方法) 同日、第三回防災会議開催
1月 26日	職員通報訓練	119番通報による災害時連絡網、火災一斉メールを使用した通報訓練を行う。対象者全職員
2月 25日	職員避難訓練 (手順訓練)	5人一組で2回の訓練を行う 北側ボイラー室からの出火想定 不審者対応訓練(さすまた使用方法) 同日、第四回防災会議開催
3月 11日	地震時通報避難訓練 昼間時想定	昼間時、吹浦沖10kmでM6の地震発生想定 *3月11日防災食提供 建物被害、停電、断水、けが人設定、安否確認メール送信 情報を極力伏せ班別の役割分担にてそれぞれの動きを経験することを目的、その後非常発電機始動操作訓練

令和2年度 月光園年間事業実施状況表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行 事	親睦会			七夕 夏祭り グループ外出	芋煮会			クリスマス会	新年会 (餅つき)	節分豆まき あゆみ会行事	ひな祭り	
家 族												役員会
教 室	カラオケサークル	カラオケサークル	書道教室	カラオケサークル	書道教室	カラオケサークル	釣り教室	書道教室	書道教室	カラオケサークル	カラオケサークル	カラオケサークル
給 食	開園記念日献立	端午節句献立	笹巻き	夏バテ予防献立	郷土料理献立	秋彼岸献立	芋蒸会献立	郷土料理献立	冬至献立	正月献立	節分献立	ひな祭り献立 防災献立 春波岸献立 お楽しみ献立
看 護	給食会献立	春山菜献立	お楽しみ献立	お楽しみ献立	土用の王献立	防災献立	秋祭り献立	お楽しみ献立	クリスマス献立	七草献立	臍膜献立	
管 理	体重測定	体重測定	血液検査	体重測定	体重測定	体重測定	体重測定	体重測定	大黒様献立	新春もち献立	お楽しみ献立	
	防災訓練	下半期監査	防災訓練	月光園だより発刊					大海日献立			
定 例 行 事	*利用者懇談会 *給食懇談会 *あゆみ会運営委員会 *喫茶 *グループ外出	(毎月) (年4回)	定期 例会 会議	(毎月) (年4回)	*企画会議 *入所判定会議 *主任会議 *グループ会議 *サービス担当者会議 *サービス向上委員会 *リスクマネジメント委員会 (通年) (年3回)	(毎月) (年4回)	*衛生委員会 *防災委員会 *給食委員会 *感染症対策委員会 *虐待防止委員会 *身体拘束適正化委員会 (年4回)	(毎月) (年4回)	*防災委員会 *給食委員会 *唐待診断 *職員健康診断 *車椅子・補装具点検 *訪問美容 (年3回)	定期 例業 務	*嘱託医 (内科・麻酔科) 回診 *(精神科・神経内科) 回診 *(精神科) 回診 *(年1回) *(年1回) *(年1回) *(年1回) *(年1回)	(週2回) (月1回) (年1回) (年1回) (月1回) (月1～2回)

多機能型事業所 ゆうとぴい事業報告

1. 生活介護について

個別支援計画に基づいて、食事や排泄などの介護や日常生活上の支援を行い、また、創作活動などの機会を提供し、生活意欲の向上や社会生活の自信につながるように努めました。

2. 就労継続支援B型について

自立した日常生活や生き生きとした社会生活を営むことができるよう、利用者の意向を踏まえ、就労活動・生産活動の機会を提供するとともに、活動を通じて就労への意欲や知識・能力の向上に努めました。

3. 健康管理について

日常生活上必要な健康チェックを日々行い、家族と連携を図りながら健康状態の把握に努め、感染予防の啓蒙を図るとともに、手洗いやうがいを励行し、運動やウォーキング等で体力の維持に努めました。

4. 食事について

季節の食材や地域の行事食を取り入れ、食べやすくバランスの良いおいしい食事の提供に努めました。

5. 家族とのかかわりについて

定期的に家族との面談や懇談を行い、支援の内容や目標の説明を通して、提供する支援サービスに対しての共通の認識が持てるように努めました。

6. 地域社会との交流について

ボランティアの協力のもとに製作した紙芝居の発表を通し、保育園・学校等と交流を深めながら開かれた施設をめざしました。また、他の福祉施設の行事や町が催す事業にも積極的に参加し、地域社会との関わりを大切にするよう努めました。

7. 職員の資質向上について

多様化する利用者のニーズに対応できるように、職場内外の研修に参加し、専門知識と技術の習得に努めました。

8. 事故及び災害の防止対策について

リスクマネジメントへの意識を高め、「ひやり・はっと」の検証に取り組み原因究明・再発防止に努めました。また、防災計画に基づいた避難訓練の実施と、関係機関との相互協力体制を築けるように努め、設備の保守管理を定期的に行い、電気機械、火気の取り扱いに注意し、安全対策に努めました。

令和2年度 多機能型事業所ゆうとぴい利用者の状況

I. 生活介護 14名

1. 市町村別状況

	遊佐町	酒田市	その他	合計
性別				
男	7	1	0	8
女	5	1	0	6
合計	12	2	0	14

2. 年齢別利用者数

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	合計
性別								
男	0	4	1	3	0	0	0	8
女	2	3	1	0	0	0	0	6
合計	2	7	2	3	0	0	0	14

平均年齢 25.5歳 最高齢 41歳 最年少 19歳

3. 障害支援区分状況

性別	障害支援区分 ※平均 4.5							
	区分無	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	0	0	5	1	1	1	8
女	0	0	0	0	0	3	3	6
計	0	0	0	5	1	4	4	14

II. 就労継続支援 B型 7名

1. 市町村別状況

	遊佐町	酒田市	その他	合計
性別				
男	4	0	1	5
女	2	0	0	2
合計	6	0	1	7

2. 年齢別利用者数

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	合計
性別								
男	0	0	0	0	3	2	0	5
女	0	0	0	0	2	0	0	2
合計	0	0	0	0	5	2	0	7

平均年齢 57.4歳 最高齢 67歳 最年少 50歳

3. 障害支援区分状況

性別	障害支援区分 ※平均 2.8							
	区分無	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	0	2	1	1	1	0	5
女	0	0	2	0	0	0	0	2
計	0	0	4	1	1	1	0	7

III. 日中一時支援 1名

1. 市町村別状況

	遊佐町	酒田市	その他	合計
男	0	0	0	0
女	1	0	0	1
合計	1	0	0	1

2. 年齢別利用者数

	20歳未満	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	0	0	0	0	0	0	1	1

○ 防災活動の状況

月 日	活動 内 容	備 考
8月 5日	地震想定避難訓練	避難誘導訓練 消火手順訓練
3月 11日	"	"

○ ボランティア受け入れ状況（団体・個人）

NO	ボランティア名	期 日	活 動 内 容	人 数
1	佐藤 繁子	毎週火曜日	手芸・外出付き添い	一
2	飯島 忠義	毎週水曜日	活動補助	一
3	みわの会 後藤 弘実 今野 三和子	毎週火、木曜日	大型紙芝居製作、上演	一
4	本間 淳子	毎週月、金曜日	刺し子、紙すき、楽器遊び	一

○ 体験実習受け入れ状況

実習 団 体 名	期 日	実習 内 容	人 数
酒田特別支援学校（高等部2年生）	11月11日～25日	体験実習	1
酒田特別支援学校（中学部3年生）	11月26日～28日	中止	一

令和2年度 ゆうとぴい 年間事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行 事					紫陽花見学 開所記念日							
家 族						紅葉狩り (家族交流)						
施 交						紅葉狩り (家族交流)	奉仕活動 (窓拭き)					
地 交												
健 康												
管 理												
定 例 行 事												

* ミュージックケア (週1回)
 * サービス担当者会議 (月1回)
 * 映写会 (月1～2回)
 * カラオケ (月1回)
 * 紙芝居製作・訪問活動 (随時)

* 職員会議 (随時)
 * 嘴託医回診 (年2回)

* 職員健康診断 (年1回)
 * 美化活動日 (月2回)

定例業務

ひな祭り
節分豆まき
正月行事
クリスマス会

ひな人形飾り
ひな祭り
ひな祭り

日
酒田特別支援
学校実習
ふれあい相談
避難訓練
(地震)

日
火災

令和2年度 ゆうすい等事業報告

経営の概要について

令和2年度における、ゆうすいの入所利用状況は、3月末現在 79名の在籍者数で1名欠員となりました。年間退所者が22名と前年度より4名少なく、退所ごとに新規入所者を迎えるまでの延べ空床数は、入院も含めると年間403床に上り、年間稼働率は98.6%と前年度より1.0%上回りました。退所者の内訳は、長期入院による退所が12名、入院先での死亡退所が1名、また、施設で亡くなった8名のうち6名の方に看取り介護を実施しました。平均年齢は、88.2歳と前年度より0.9歳高齢化しているものの平均介護度は4.0と前年度と同じ数字となりました。

短期入所は、新型コロナウイルス感染症流行のため家族の在宅が増えた結果、年間稼働率は78.9%と前年度を9.6%下回る結果となりました。

デイサービスセンターは、12月に同敷地内事業所からの、新型コロナウイルス感染症の感染者発生のために影響を受けましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため家族の外出が少なくなり、年間を通しては利用者の増加につながりました。年間稼働率は80%と前年度を4.2%上回る結果となりました。今後も稼働率を維持することが重要です。「いきいき元気教室」は、秋コースのみの開催で、延べ148名の参加がありました。楽しみにされていた方々からは、行き場がなく閉じこもりがちになってしまったとの声があり、少人数でも、継続的に参加できる多様な通いの場が求められています。

ケアプランセンターは、年間ケアプラン作成件数延べ1,221件（マイナス33件）、介護予防受託件数延べ235件（プラス70件）となりました。地域包括支援センターと連携を図り、支援困難ケース等への積極的な対応や、利用者が地域での生活を豊かに継続できるよう、地域における特性や課題、意見等の収集に努め、必要に応じ、インフォーマルサービス等を利用したケアプラン作成を行いました。地域包括支援センターは、専門職4名体制でスタートしましたが、1月からは3名体制で7,584件の相談に対応し昨年よりも1,444件上回っています。高齢者の権利擁護事業については、独居・高齢者世帯を中心として、実態把握のための訪問を積極的に行い、様々な制度や関係機関に繋げました。高齢者虐待防止についても、民生委員会や各種会議等で高齢者虐待防止の啓発用パンフレットの配布を行い、内部研修会の講師として虐待防止の啓発に努めました。

これら、ゆうすい全体の実績を事業活動計算書でみると、サービス活動収益は前年比103.3%の561,704千円（18,463千円増）と伸びが見られたものの、同活動費用も人件費や修繕費の費用が増え、前年比102.8%の552,021千円（15,113千円増）となり、活動増減差額は9,683千円（3,349千円増）、経常増減差額においても10,445千円（2,897千円増）という結果でした。

施設整備では、既存棟遊歩道舗装工事(2期目)と、給排水関連の設備更新を行いました、積立を取り崩さず実施し、更に11,500千円を建設積立資産に積み上げ今後に備えることができました。

特別養護老人ホームゆうすい事業報告

1. 生活支援について

- 利用者の楽しみや趣味について傾聴し、畠作り、軽体操、手芸等、個別の対応またはグループ単位での対応を行いました。
春の種まきから、収穫、調理に至るまで役割を持ち関わる事で喜びを感じて頂く事が出来ました。また、外出は新型コロナウイルス感染予防から控えることとなり、グループやユニット内生活の中で季節を感じられるように努めました。
- 認知症や排せつ支援等の研修に積極的に参加し、他職員に対して伝達研修を行い良質なサービス提供に努めました。
- 介護と看護が連携し研修を行いながら、より専門的な知識、技術の向上を図りました。看取りケアも積極的に取り組み、家族・関連職種と情報共有を行ないながら最後まで自分らしく過ごしていただけるように心がけ、6名の方の看取りを実施しました。
- グループ会議等で「ひやり・はっと」報告の振り返りを行い、事故防止対策に取り組みました。事故内容は転倒が多く、発生時期は冬から春にかけて、また新しく入所して間もない時期に増加傾向にありました。
- 施設内の整理整頓、居室の環境整備、清潔保持を心がけ、物品の適正な使用と管理に努め経費の無駄を省くことが出来ました。

2. 食事サービスについて

- 食事から季節を感じていただけるよう、献立に旬の食材を取り入れたり、季節ごと行事食を取り入れたりしました。また、給食委員会での意見や嗜好調査の結果をもとに、各部署希望献立やぼたもち、いなり寿司の日などを設け、より利用者の方に満足していただける食事の提供に努めました。
- 食が進まない方や疾病のある方に向けて、介護や看護と連携し、食事形態の変更や量の調整、補食の追加等の対応を行い、改善に結びつきました。

3. 健康管理について

- 終の棲家として、入居時より終末期を本人、家族が穏やかで安心した気持ちで過ごして頂けるように、家族、医療と看護、介護、関連職種との連携情報共有に努め、本人の尊厳を守り最期まで自分らしく過ごしていただけるよう、丁寧な対応と、相談対応に努めました。
- 新型コロナウイルスの影響を実際に受けましたが、一人一人が感染対策に迅速に取り組んだおかげで拡散することなく収束することが出来ました。感染予防対策の取り組みとして、伝達研修・実技研修を通して感染症に対する知識・技術の習得に努めることが出来ました。

4. リハビリテーションについて

- 利用者の身体機能の維持が図られるよう、多職種共同で機能訓練を取り入れた日常生活の支援に取り組みました。

- ・ 作業活動や集団での体操などを行い、楽しく活動できるよう支援しました。また、福祉用具を用い、ADL の維持が図れるよう支援を行いました。

5. 短期入所サービスについて

- ・ 家族、医療機関、ケアマネジャーと連携をとりながら、緊急時の速やかな対応調整に努めることができました。
- ・ 新規面談・サービス担当者会議等において、情報を共有し利用者一人ひとりに合った居室環境の整備や生活の充実に努めました。
- ・ 余暇活動においては、それぞれの身体機能に合った内容で、体操や脳トレ、料理サークル等を行い、楽しんでいただけるよう努めました。

デイサービスセンターあいあい事業報告

1. 基本サービスについて

- ・ 利用者が在宅で今出来る事を継続して、いきいきと生活して行けるように身体機能の維持に心掛けました。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により外部施設の見学や研修には参加できませんでしたが、ポイント制度の導入により、楽しみを持ちながら利用して頂く事で利用者の拡大に繋がりました。
- ・ 施設内の整理整頓・環境美化に取り組み皆さんのがくつろげる空間作りに努めました。
- ・ 業務手順書に沿った介護支援に取り組み、介護事故、「ひやり・はっと」の削減に努めました。

2. 食事サービスについて

- ・ 食事形態や嗜好はもとより、食器等の器具も個別対応を徹底し、安全でおいしい食事の提供に努めました。
- ・ 季節の食材を使った献立や行事食、郷土食の他に、希望献立・手作りおやつなどを実施し、より満足していただける食事の提供に努めました。また、嗜好調査を行い、その結果を反映させた献立作成に努めました。

3. 健康管理について

- ・ 利用者の重度化に適切な対応ができるよう、在宅、看護、介護員間の連携と医療に関する知識の向上に努めました。
- ・ 手洗い・うがいを励行し外出時のマスク着用等、在宅でも実施していただけるよう指導してきました。感染症予防対策マニュアルに基づく迅速かつ適切な対応により拡大を防ぐとともに、家族が罹患し自宅での介護が難しい方へのサービス提供も継続して行いました。
- ・ 部署内で感染予防対策の周知・徹底に努めました。外部からの出入りが最も頻繁な部署であるため、近隣地域の感染状況に対して常に注意を払い、感染予防対策については、隨時会議等で検討しました。

多様な利用者のそれぞれの事情に配慮しつつ、最適と思われる方法を部署内で統一して実施しました。

4. レクリエーション、余暇活動について

- ・ 新型コロナウイルスの影響により外出等は控えましたが、季節の行事、利用者の交流を意識したレクリエーションや認知症予防に効果があるミュージックケアを毎月取り入れ、季節行事、利用者間の繋がりや交流を意識した余暇活動に努めました。

5. 介護予防について

- ・ 運動機能向上、認知症予防については、個々に合った運動トレーニングや物忘れ予防プログラムを実施・評価・見直し・継続と、計画的に行い口腔機能維持については歯磨き指導等行ない重度化防止に努めました。

6. 地域とのつながりについて

- ・ 自立支援型地域ケア会議に参加し、地域の情報交換には積極的に参加しました。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により地域の健康教室等も自粛が多く、「ゆうすい出張講座」の依頼もありませんでした。

ケアプランセンターゆうすい事業報告

1. ケアプラン作成について

- ・ 自立した生活を送れるように、利用者・家族の思いや要望等を傾聴しその上で課題分析を行い、必要なサービスを提案するケアプランを年間 1,221 件、介護予防ケアプランでは実件数 235 件作成しました。
- ・ 緊切丁寧な説明を心がけ、利用者・家族が情報を得やすいようにわかりやすい資料を準備しました。

2. 他機関との連携について

- ・ 利用者、家族、関係機関との連携を密にし、状態に変化があればその都度、また更新時には必ずサービス担当者会議等を開催し、情報共有を行いました。
- ・ 在宅生活を町内で支えるためにも、行政機関や民生児童委員等と連携を図りました。
- ・ 病状に合わせた生活を続けるために、介護、医療などが切れ目なく提供できるよう主治医、各関係者との連携に努めました。

3. 研修について

- ・ 支援困難ケース等への積極的な対応や専門性を高め、ケアプラン会議や事業所内研修を定期的に開催し、一人ひとりの資質向上に努めました。
- ・ 介護保険制度やケアマネジメントについて理解を深め、研修会や会議を通して自己研鑽するよう努めました。

4. 地域包括ケアシステム構築への役割

- ・ 自立支援型地域ケア会議に事例提供して、自立した日常生活を営むために必要な支援について他専門職と検討を重ね、今後のケアマネジメントに活かすように努めました。
- ・ 地域における特性や課題について地域に出向き、意見等の収集に努め把握できるようにしました。必要に応じ、インフォーマルサービス等を利用したケアプラン作成を行いました。

遊佐町地域包括支援センターゆうすい事業報告

1. 総合相談事業について

- ・ 地域の身近なワンストップサービスの相談窓口として、集落ごとに行っている百歳体操や社会福祉推進員会に出向き、周知を図りました。総合相談件数は7,584件(前年度6,140件)と相談件数は増加しています。
- ・ 三者合同会議(健康福祉課・社協・包括)を年7回開催し、複数の問題を抱える困難ケースについての共有と連携を行いました。R3年度発行予定の高齢者保健福祉ガイドブックの作成に取り組みました。

2. 権利擁護事業について

- ・ 独居、高齢者世帯を中心として、実態把握のための訪問を行い、様々な制度や関係機関に繋げました。
- ・ 令和2年度は虐待の疑いのあったケースに対しては、関係機関との連携を図り訪問し、経過を見ながら対応にあたりました。
- ・ 成年後見制度に関する問い合わせはありませんでしたが、申し立て手続きに係る助言及び支援、活用を促進しています。成年後見制度についての出張講座を社会福祉協議会と合同で開催し、講師を務めました。高齢者虐待防止についても、民生委員会や各種会議等で、高齢者虐待防止の啓発用パンフレットの配布を行い、内部研修会の講師として虐待防止の啓発に努めました。

3. 包括的・継続的ケアマネジメント事業について

- ・ 「ゆざまちケアマネジャーの会」の事務局として、年間4回の定例会を通して会員相互の交流や資質向上に向け、事例検討会や研修会を企画し開催しました。
- ・ 困難事例を抱える居宅の介護支援専門員への助言やカンファレンスへの同席など後方支援を行い、課題解決に向けて協働しました。

4. 介護予防ケアマネジメント事業について

- ・ 運動や活動に参加するきっかけづくりとして遊佐町総合事業「いきいき元気教室」に勧誘し、2年度は新型コロナウィルスの影響で秋コースのみの開催となり、13名が利用し、運動・口腔・栄養、認知機能・閉じこもりの予防に繋げました。

- ・ 自主的活動の場(通いの場、百歳体操等)に年間4回参加し、保健師と連携して活動を支援しました。また、出張講座の講師として、集落のサロンに出向きました。
- ・ 事業対象者、要支援者の介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務については、10か所の事業所に業務委託を行いました。自立支援型地域ケア会議での助言を参考に業務にあたりました。

5. 認知症に関する事業について

- ・ 認知症サポーター養成講座は、遊佐中学校2年生を含め7回開催し、延べ185名が受講しました。養成講座の講師役となる認知症キャラバン・メイトの打ち合わせ会議も行っています。
- ・ 地域で集える場として「ゆうすいカフェ」は、例年11回開催していましたが、新型コロナウィルス感染症の影響により、会場も遊佐町生涯学習センターに変更し「出張かふえ」として開催しました。コロナ禍においてのカフェの在り方として、庄内地域の情報交換会にも参加し、カフェ継続のための考え方や方法を共有しました。
- ・ 認知症初期集中支援チームとして対応したケースはありませんでしたが、認知症の支援がうまく進まないケースを医療や介護に繋げるなど、担当のケアマネジャーと課題解決に向けた支援を行いました。
- ・ 認知症を題材にした絵本を通して認知症についての理解をすすめ、相手を思いやる気持ちを育む事を目的に、町内5つの小学校の全学年の生徒に読み聞かせを行いました。

令和2年度特別養護老人ホームゆうすい利用者の状況

1. 市町村別状況

	遊佐町	酒田市	合計
男	14	1	15
女	57	7	64
合計	71	8	79

2. 入退所状況

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	既存	男	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
		女	2	0	2	0	0	0	2	0	2	1	0	1	10
	ユニット	男	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
		女	0	0	1	1	1	0	2	1	0	1	1	0	8
	合計	2	0	3	1	1	1	1	4	2	2	3	1	2	22
退所	既存	男	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
		女	1	0	1	0	0	2	0	2	2	0	1	0	9
	ユニット	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		女	0	1	0	2	0	0	3	0	1	1	0	2	10
	合計	1	2	1	2	1	2	3	3	3	3	1	1	2	22

3. 年齢別状況

		~64歳	~69歳	~79歳	~89歳	~99歳	~109歳	合計
既存棟	男	0	0	2	5	1	0	8
	女	0	1	4	13	24	0	42
ユニット棟	男	0	0	2	4	2	0	8
	女	0	0	0	13	8	0	21
合計		0	1	8	35	35	0	79
平均年齢 88.2歳 最高齢 97歳 最年少 68歳								

4. 介護度別状況

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
既存棟	男	0	1	4	2	1	8	3.4
	女	1	2	13	13	13	42	3.8
ユニット棟	男	0	0	1	2	3	6	4.3
	女	0	0	6	4	13	23	4.3
合計		1	3	24	21	30	79	4.0

5. 医療受診状況(R2年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	通院	2	3	2	1			1	2	8	1	3	1	24
	入院		16	8	23	19	22	35	41	27	20	13	12	236
外科	通院			3		1	3			1				8
	入院													
整形	通院													
	入院													
泌尿器	通院	5	5	8	8	7	6	6	6	8	4	4	4	71
	入院													
精神科	通院								1					1
	入院													
眼科	通院										1			1
	入院													
歯科 口腔外科	通院			2	2	1	3	3	1				2	14
	入院													
脳神経 内科	通院		2		1						1		1	5
	入院													
婦人科	通院										1			1
	入院													
耳鼻科	通院								1					1
	入院													
皮膚科	通院	1	2	4	1	3	2	3	3	1	2	1	2	25
	入院													
月計	通院													151
	入院		16	8	23	19	22	35	41	27	20	13	12	236

※H31～R1年度入院者数 426

※H30年度入院者数 708

※H29年度入院者数 568

6. 短期入所利用状況 (定員15名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	344	327	297	344	367	323	308	374	436	418	402	380	4,320
一日平均	11.5	10.5	9.9	11.1	11.8	10.8	9.9	12.5	14.1	13.5	14.4	12.3	11.8
稼働率(%)	76.4	70.3	66.0	74.0	78.9	71.8	66.2	83.1	93.8	89.9	95.7	81.7	78.9
前年度延べ人数計	381	402	361	384	394	411	445	432	424	409	410	405	4,858
〃1日平均	12.7	13.0	12.0	12.4	12.7	13.7	14.4	14.4	13.7	13.2	14.6	13.1	13.3
〃稼働率(%)	84.7	86.5	80.2	82.6	84.7	91.3	95.7	96.0	91.2	88.0	97.6	87.1	88.7

7. 給食状況

区分	エネルギー kcal	栄養量						給食費			給食延人数 人
		タンパク質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンB ₁ μgRAE	ビタミンC mg	総合 円	1人1ヶ月平均 円	1人1日平均 円	
4月	1,497	57.1	38.7	538	7.8	629	0.78	79	2,352,701	27,810	927
5月	1,494	57.0	38.5	548	7.7	604	0.80	78	2,340,758	27,590	890
6月	1,502	57.1	39.4	524	7.3	622	0.78	71	2,323,659	27,540	918
7月	1,484	56.7	38.1	536	7.5	614	0.77	69	2,433,009	28,799	929
8月	1,503	56.8	38.9	529	8.0	611	0.78	73	2,385,222	28,086	906
9月	1,523	57.3	39.6	560	7.8	617	0.78	65	2,418,341	28,650	955
10月	1,481	57.0	38.0	520	7.7	610	0.78	67	2,382,681	28,241	911
11月	1,493	56.4	39.4	544	7.7	606	0.78	70	2,336,021	26,940	898
12月	1,495	57.0	36.2	558	8.2	651	0.78	74	2,735,690	30,256	976
1月	1,490	57.1	38.9	542	8.0	628	0.79	75	2,401,982	26,846	866
2月	1,475	56.3	36.7	556	7.8	614	0.78	78	2,218,979	24,528	876
3月	1,499	56.5	39.1	545	8.0	611	0.79	80	2,519,546	28,117	907
合計	17,936	682	462	6,500	94	7,417	9	879	28,749,819	333,403	10,959
月平均	1,495	56.8	38.5	542	7.8	618	0.75	73	2,395,818	27,783	913
											7,897

1人1日当たり荷重平均栄養所要量						
エネルギー kcal	タンパク質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄 mg	ビタミンB ₁ μgRAE	ビタミンC mg
1,495	56.8	38.2	544	7.8	618	0.79

給食費の割合			
朝食 円	昼食 円	夕食 円	夕食 円
223	374	316	316

令和2年度デイサービスセンターあいあい利用者の状況

1. 介護度別状況

		要支援1	要支援2	(小計)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
令和2年度	利用人数	15	22	37	40	25	11	7	3	123	1.9
	%	12.2	17.9	—	32.5	20.3	8.9	5.7	2.4	100.0	
前年度	利用人数	13	21	34	39	23	9	7	5	117	1.9
	%	11.1	17.9	—	33.3	19.7	7.7	6.0	4.3	100.0	

2. 年齢別状況

		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合 計
令和2年度	利用人数	0	0	5	4	27	42	34	11	0	123
	%	0.0	0.0	4.1	3.3	22.0	34.1	27.6	8.9	0.0	100.0
前年度	利用人数	0	0	4	8	21	42	33	9	0	117
	%	0.0	0.0	3.4	6.8	17.9	35.9	28.2	7.7	0.0	100.0

3. 地区別状況

		遊 佐	吹 浦	高 瀬	稻 川	蕨 岡	西遊佐	合 計
令和2年度	42	16	13	10	25	17	123	
前年度	39	13	16	13	23	13	117	

4. 月別利用状況

(定員35名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数		30	31	30	31	31	30	31	30	18	28	28	31	349
延べ人数	介護保険	624	644	667	707	715	744	734	722	365	618	608	710	7,858
	介護予防	172	198	200	215	187	207	206	202	111	173	189	210	2,270
	計	796	842	867	922	902	931	940	924	476	791	797	920	10,108
1日平均		26.5	27.1	28.9	29.7	29.0	31.0	30.2	30.8	15.8	28.3	28.5	29.6	28.0
稼働率(%)		75.8	77.6	82.6	85.0	83.1	88.7	86.6	88.0	45.3	80.7	81.3	84.8	80.0
いきいき元気教室		—	—	—	—	12	63	48	25	—	—	—	—	148
前年度延べ人数計		818	852	805	857	783	813	834	757	768	748	756	807	10,027
〃 1日平均		27.3	27.5	26.8	27.6	25.3	27.1	26.9	25.2	25.6	26.7	26.1	26.0	27.8
〃 稼働率(%)		77.9	78.5	76.7	79.0	72.2	77.4	76.9	72.1	73.1	76.3	74.5	74.4	75.8
いきいき元気教室		—	28	39	46	10	39	47	21	26	27	25	6	314

令和2年度ケアプランセンターゆうすい利用者の状況

1. ケアプラン作成件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	101	101	104	103	102	101	101	103	102	102	99	102	1,221
うち新規	2	1	2	2	1	0	0	2	0	2	1	4	17
介護予防作成件数	20	20	20	19	18	19	19	19	19	22	20	20	235
前年作成件数	107	107	105	107	105	104	105	107	105	102	100	100	1,254
〃介護予防作成件数	13	15	14	14	12	14	13	12	14	14	15	15	165

2. 介護度別状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1	31	33	35	35	36	35	36	35	34	35	36	40	421
要介護 2	35	34	36	35	32	32	30	31	31	31	30	31	388
要介護 3	11	11	11	11	11	13	13	13	13	14	14	12	147
要介護 4	10	10	9	10	10	10	10	12	12	10	9	9	121
要介護 5	14	13	13	12	13	11	12	12	12	12	10	10	144
総人数	101	101	104	103	102	101	101	103	102	102	99	102	1,221
平均介護度	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.2	2.3	2.3

令和2年度遊佐町地域包括支援センターゆうすい活動状況

1. 介護予防ケアプラン作成件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	89	88	90	96	101	105	102	104	91	77	73	74	1,090
うち新規	4	4	1	5	2	5	1	4	0	3	2	1	32
委託件数	80	81	82	80	81	78	77	82	77	94	92	93	997
うち新規	1	1	2	3	3	0	1	4	2	2	2	3	24
合計	169	169	172	176	182	183	179	186	168	171	165	167	2,087
前年作成件数	67	80	79	79	80	81	81	84	79	79	85	82	956
〃委託件数	96	101	102	101	96	95	93	86	89	90	92	93	1,134
合計	163	181	181	180	176	176	174	170	168	169	177	175	2,090

2. 月別相談件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	583	641	702	685	642	657	623	646	688	584	540	593	7,584
前年相談件数	544	467	478	551	441	457	510	501	537	556	503	595	6,140

令和2年度 特別養護老人ホームゆうすいボランティア受入れ状況

月 日	個人及び団体(敬称略)	摘 要	延人数
9月6日	西遊佐地区婦人会	既存棟 清拭縫い	6
9月27日	蕨岡地区婦人会	ユニット棟 車いす掃除	4
2月1日～10日	金子和恵	ユニット棟 介護補助、掃除	4
ボランティア受け入れ年間延べ人数			14

令和2年度 特別養護老人ホームゆうすい実習・施設見学等受入れ状況

月 日	実/見	個人及び団体(敬称略)	摘 要	延人数
5月13日～8月31日	実習	遊佐高校デュアル実践実習 2年渋谷太陽	5/13. 20. 27 6/3. 10. 17. 24 7/1. 8. 15 8/26. 31 うめ・ふじ グループのみ 9時～16時	12
5月14日		西遊佐地区婦人会	ボランティア来れない代わり 白タオル80枚(新品)寄贈	1
7月10日	実習	遊佐町シルバー人材センター	緑地管理補助員業務講習	10
8月3日		遊佐高校3年生 生涯・美術選択	夏の折り紙作品展示用10点持参	1
9月2日		遊佐地区婦人会	ボランティア来れない代わり 白タオル250枚(新品+中古品)寄贈	1
10月19日		遊佐高校ボランティア部	ハロウィーン作品寄贈 折り紙壁掛け作品15点	2
11月24日		遊佐高校ボランティア部	クリスマス作品寄贈 折り紙壁掛け作品8点	3
11月27日		遊佐地区婦人会	歳末慰問金持参	1
12月24日		遊佐中学校生徒会	歳末助け合い運動 壁掛けメッセージ2枚、みかん5kg2箱	4
実習生・施設見学受け入れ年間延べ人数				35

令和2年度 デイサービスセンターあいあいボランティア受入れ状況

月 日	個人及び団体(敬省略)	摘 要	延人数
ボランティア受け入れ年間延べ人数			0

令和2年度 デイサービスセンターあいあい実習・施設見学等受入れ状況

月 日	個人及び団体(敬省略)	摘 要	延人数
11/10～11/12	遊佐高生1年 高橋ことり 藤田夏凜	インターナンシップ 利用者とのふれあい	2
実習生受け入れ年間延べ人数			2

令和2年度防災活動報告

月 日	訓練内容（担当）	設 備 点 檢	会 議	備 考
4 月				
5 月			防災委員会 13日	
6 月 24 日 (水)	発電機始動・接続訓練 昼間避難訓練(通所課)	火災一斉メールシステム	防災委員会 10日	管理棟
7 月	離設対応訓練 22 日 (管理課)		防災委員会 8日	30日法人会議
8 月 28 日 (金)	夜間避難訓練 (介護課・既存)	火災一斉メールシステム 消防用設備保守点検 20日	防災委員会 12日	
9 月	地震想定訓練(防災ネット) 18日		記録なし	14日法人会議
10月	BCP訓練 14 日 (介護課・ユニット) 発電機始動・接続訓練 20日	火災一斉メールシステム	防災委員会 14日	あいあい
11月	発電機始動・接続訓練 16日		防災委員会 11日	介護・既存
12月				
1 月	発電機始動・接続訓練 9・11・23日		防災委員会 13日	介護・ユニット
2 月	夜間想定避難訓 25 日 地震想定訓練(防災ネット) 17日		防災委員会 10日	8月夜間訓練 実施者対象
3 月		火災一斉メールシステム 10日 消防用設備保守点検 16・18日	防災委員会 10日	

※令和2年度特別養護老人ホームゆうすい等月別実施状況》

部門	管理・防災	給食	研修	やうすい	あいあい	ケアプラン C・包括支援 C
4月	⑥開所記念日	開所記念行事食 お花見献立		⑥入所者検診（血液検査）	ビデオ鑑賞 軽スポーツ ミュージック	
5月		春祭り献立 端午の節句献立 笹巻き献立	⑤人事評価説明会	①散歩・（～10月末まで） ②職員検診（セントナ受診～7月）	ビデオ鑑賞 軽スポーツ ミュージック	
6月	⑤星間避難訓練 ⑥ボーダブル発電機使用訓練		④新人研修 ⑤看取り・職員の健康について ⑦新入研修	③役員会 ④疾患別血液検査 ⑤疾患と介護保険集団指導	軽スポーツ・ミュージック 手作りおやつ 夏祭り、七夕飾り作り 軽スポーツ 紙芝居 ミュージック	⑤山形県介護支援専門員協会庄内支部役員会 包社会福祉推進委員会 包遊生町在宅医療連携企画会議
7月	⑥ゆうすい夏祭り ⑤離設対応訓練 ⑥法人人防災会議 ⑥夜間避難訓練	七夕献立 土用の丑献立 夏祭り行事食	⑥夏祭り ⑦田舎市ケアマネジャー連絡協議会研修会	⑥夏祭り ⑦法令順守、虐待について ⑧救急法短期講習 ⑨医療サポート研修会	夏祭り、七夕飾り作り 軽スポーツ 紙芝居 ミュージック	②介護保険事業所集団指導説明会 包遊生町在宅医療連携企画会議
8月	⑥消防用設備保守点検 ⑥レジオネラ培養	お盆献立	⑥入所者検診（血液検査）	⑥入所者検診（血液検査） ⑦歓迎下診	軽スポーツ 敬老会 手作り作品 紙芝居 ミュージック	②遊生中認知症サポート養成講座 包高齢者障がい者虐待防止地域連絡協議会 包医療と介護連携推進協議会委員会 包出張講座「成年後見制度」 包事例検討会 包学校絵本読み聞かせ
9月	⑥法人防災会議 ⑥広報「ゆうすい」第36号発行 ⑥ボーダブル発電機使用訓練 ⑥法人BCP訓練	敬老会行事食 秋彼岸献立	⑥入所者検診（血液検査） ⑦入所者耳鼻科検診	⑥入所者検診（血液検査） ⑦新任者7名アート ⑧医療と介護の連携推進連絡会多職種研修会 ⑨介護支援専門員更新研修II	軽スポーツ 紙芝居 ミュージック	包地域リハビリーション活動支援事業 包住内地域カブエ情報交換会 包ゆうすいカブエ 包学校絵本読み聞かせ 包住内地域保健医療協議会在宅医療専門部会 包医療と介護連携推進企画会議 包新年会「アマネカム」研修会 包地城包括支援センター等庄内連絡会研修会 包山形県介護士支援専門員協会庄内地域研究会 ⑩感染症について ⑪新任者7名アート連絡協議会研修会 ⑫田舎市ケアマネジャー連絡協議会研修会 ⑬法令遵守、虐待について ⑭認知症患医療センターーウェブ研修 ⑮新規会員登録
10月	⑩なんでも相談日 ⑪ボーダブル発電機使用訓練	芋煮会献立 つや姫御膳	⑩秋の味覚献立	⑩「アマネカム」研修会 ⑪地城包括支援センター等庄内連絡会研修会 ⑫田舎市ケアマネジャー連絡協議会研修会 ⑬感染症について ⑭新規会員登録	防災訓練 おやつ作り ミニ運動会 ミュージック	包住内地域カブエ情報交換会 包ゆうすいカブエ 包学校絵本読み聞かせ 包住内地域保健医療協議会在宅医療専門部会 包医療と介護連携推進企画会議 包新年会 テーブルゲーム 書初め 軽スポーツ
11月	⑪ボーダブル発電機使用訓練 ⑫法人防災会議		クリスマス行事食 大黒様献立 冬至かぼちゃ献立	⑩職員検診（検診バス受診） ⑪入所者検診（胸部レントゲン） ⑫イクルエンド（予防接種（職員） ⑬役員会 ⑭クリスマス会 ⑮新規会員登録	クリスマス会 ビデオ鑑賞・ミュージック	包小学校絵本読み聞かせ 包在宅医療連携企画会議 包新年会 包小学校絵本読み聞かせ
12月	⑫地震想定避難訓練 ⑬法人防災会議		クリスマス行脚 餅つき会 七草献立 寒だら汁	⑩「イクルエンド」予防接種（入所者） ⑪クリスマス会 ⑫遊佐保健園へプレゼント ⑬疾患別血液検査 ⑭新規会員登録	新年会 書初め 軽スポーツ	包小学校絵本読み聞かせ 包在宅医療連携企画会議 包新年会 包小学校絵本読み聞かせ
1月	⑬法人防災会議 ⑭ボーダブル発電機使用訓練 ⑮受水槽清掃	お正月献立	⑩内地区特養相談員会議 ⑪チームオレンジコードイネーネータ養成研修	⑪節分 ⑫内地区特養相談員会議 ⑬チームオレンジコードイネーネータ養成研修	筋分行事 手作り作品 軽スポーツ ミュージック	包遊生町認知症キャラバン・メイト打ち合わせ会議 包ゆうすいカブエ打ち合わせ会議 包包括支援センター運営協議会 包地城リハビリティーショップ活動支援事業打ち合わせ会議 包⑩ケアマネ定期会議、自立支援型地域ケア会議
2月	⑮レジオネラ培養・飲料水検査 ⑯夜間想定避難訓練 ⑰消防用設備保守点検	ひな祭り献立 春彼岸献立	⑩内地区特養相談員会議 ⑪チームオレンジコードイネーネータ養成研修	⑪疾患別血液検査 ⑫喉下診断	軽スポーツ ビデオ鑑賞 ミュージック	包⑩ケアマネ定期会議、自立支援型地域ケア会議 包地城包括ケア相談員セミナー運営協議会 包地城リハビリティーショップ活動支援事業打ち合わせ会議 包⑩ケアマネ定期会議、自立支援型地域ケア会議 包地城セミナー運営協議会 包認知症サポート養成講座 包出張講座(随時)⑤民生活用委員会定期例会 包生活・社会・地域福祉課合同情報交換会
3月	企画調整会議（毎月）草津衛生委員会（毎月） 入所検討委員会（奇数月） 防災・省エネ委員会（毎月第2水） 保健衛生委員会（5.8.11.2月 第3火） サービス向上委員会（毎月第2月） 広報活動委員会（毎月第1火） 地政交渉委員会（奇数月上旬）	誕生会献立（毎月） ぼた餅の日（希望設立の日 隔月で実施） 料理サークル（随時） 給食委員会（5.8.11.2月 第1木） 給食担当懇談会	⑨内科回診（木） ⑩精神科回診（月1回） ⑪たん吸引等研修会 ⑫長谷川式スケール（年1回） ⑬認知症施策研修 ⑭口腔ケア指導（月1回） ⑮理容の日（偶数月第1火） 秋コース（1回）	誕生会・喫茶店 運動器機能向上】 口腔機能向上】 物忘れ予防 地域支援事業「いきいき元気教室」 秋コース（1回）	職員会議（毎月）	包遊生町認知症キャラバン・メイト打ち合わせ会議 包ゆうすいカブエ打ち合わせ会議 包包括支援センター運営協議会 包地城リハビリティーショップ活動支援事業打ち合わせ会議 包⑩ケアマネ定期会議、自立支援型地域ケア会議 包地城セミナー運営協議会 包認知症サポート養成講座 包出張講座(随時)⑤民生活用委員会定期例会 包生活・社会・地域福祉課合同情報交換会
月例 随時						

令和2年度 にしだて事業報告

経営の概要について

令和2年度におけるにしだての入所利用状況は、3月末現在入居者数29名（男6名・女23名）です。平均年齢は89.8歳と前年度より1.4歳高齢化していますが、平均介護度は3.5と前年度と同じ数字となりました。年間稼働率は98.5%と前年度より0.2%上回りました。入居者の体調が安定しており入院者数も4名と前年度より1名減となったことや、退所後から新規入所までに要する時間を短くするように対応したことなどが要因に挙げられます。退所者の内訳は、長期入院による退所が3名、施設での死亡退所が2名の計5名となり、前年度より2名減となりました。平均在所期間は3年6ヶ月となっています。

新型コロナウイルスの感染拡大により、家族との面会自粛や入居者の外出等の制限が長引いている状況のため、ビデオ通話によるオンライン面会のシステムを整えました。

短期入所は、新規利用者の受け入れに積極的に取り組んだ結果、その中から新たな定期利用に繋がり年間稼働率は72.9%と前年度を4.0%上回ることができましたが、近隣地区の短期入所施設の平均稼働率には及ばないため、今後も更なる稼働率の向上に取り組むことが必要です。

ケアプランセンターにしだての年間作成件数は881件で、新規作成件数は29件、介護予防受託件数は181件でした。予防も含めた総受託件数は973件で前年対比47件の減、ケアマネ1人平均が27件の実績でした。介護支援専門員が2人から3人体制に増えたものの、新規作成件数が少なかったことや、担当利用者が入所などで減少したことなどが要因に挙げられます。

以上の事業を実施した結果、今年度の全体の実績を事業活動計算書で見るとサービス活動収益は前年比102.9%で192,332千円(5,471千円増)、同活動費用は、前年比101.6%で206,066千円(3,153千円増)でした。サービス活動増減差額は、13,734千円減(2,317千円増)、経常増減差額は12,973千円減(2,905千円増)となりました。

施設整備では、山形県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、敷地内への物置設置、地域交流スペースの仕切りカーテン設置等を実施し、今後の感染症対策として備えました。

特別養護老人ホームにして事業報告

1. 生活支援について

- ・ 感染症予防のために面会や外出等ができない状況の中でもストレスを感じず過ごすことができるよう、ユニット内での趣味活動や行事を企画し対応しました。夏祭り、敬老会、芋煮会、新年会などの施設行事では、同日にゲーム大会を行うなど、入居者が一緒に参加出来るような内容を企画し、喜んでいただくことができました。
- ・ 日常生活の様子を手紙や写真、電話で家族にこまめにお伝えすることを心がけ、信頼関係を構築し、安心していただけるように努めました。
- ・ 「ひやり・はっと」に対し、サービス向上委員会が中心となり対応策を細かく検討し、その後ユニット会議での振り返りを徹底することで再発予防に努めました。誤薬や服薬忘れの減少を目標に掲げ、服薬マニュアルの見直しを実施しました。
- ・ 介護と看護、他職種間と連携し情報共有、意見交換を行いながら、それぞれの専門的な視点で考えを出し合い、一人一人に合った支援を行うことができるよう努めました。また、専門的な知識や技術の向上を図るため、施設内研修に積極的に取り組み、効果を得ることができました。
- ・ 施設内、生活環境の整理整頓、入居者の清潔保持を心がけ、快適に、また安全な環境で過ごしていただくことができるよう努めました。

2. 食事サービスについて

- ・ 地元の食材や郷土料理などを献立に取り入れ、入居者の慣れ親しんだ食事を提供することに努めました。
- ・ 旬の食材を使用したり、季節に合わせた行事食を行ったりして、食事から季節を感じ楽しんでいただくことができました。
- ・ 昨年度より引き続き、入居者一人一人の誕生日当日にケーキを提供し特別な日をお祝いしました。また、今年度より『にして喫茶』を定期で開催しました。おやつと一緒に好きな飲み物を選び、普段とは違う雰囲気の場所で、ゆっくり楽しんでいただける機会づくりに取り組みました。
- ・ 入居者の食事状況の観察を行い、食事の味付けや柔らかさなどの意見を直接伺うよう取り組みました。意見はその都度厨房職員に伝え、改善に努めました。また、食事形態、食事量や補食などについては、看護や介護等多職種と連携し適時検討を行いました。
- ・ ソフト食は、厨房職員と一緒に問題点の改善に努め、安全な食事の提供により一層注意しました。

3. 健康管理について

- ・ 入居者が身体的、精神的にも安心、安全に生活できるように職員間で情報を共有し統一したケアに努めました。健康管理面では、家族との連携を図り、服薬等の変更や体調不良時、通院の結果等を逐次お知らせするように努めました。
- ・ 感染症に関しては、地域の状況や研修で情報を得、隨時、保健衛生委員会を開催し、決定した事を職員に伝えたり、内部研修を開催したりすることで予防に努める事ができました。
- ・ 終末期の入居者へは最期の時まで自分らしく過ごしていただけよう、カンファレンス等で家族の意向を確認し、その意向に寄り添えるよう職員間で情報を共有することを心がけました。今後、より良いケアを行うことができるよう振り返りや意見交換も行いました。また、終末期の医療について、家族から定期的に意向を確認することを徹底しました。

4. リハビリテーションについて

- ・ 入居者の残存機能維持及び日常生活の中でのリハビリやマッサージ、可動域運動の他に、手遊びや体操、パズル、トランプ等で、気持ちが安定したり楽しみを持ったりすることができるよう努めました。
- ・ 地域内への散歩の機会を設け、近隣住民との交流を行ったり、地域密着型施設の特徴を活かし、町内の話題を提供して楽しんでいただいたりすることができました。
- ・ 毎月 1 回、理学療法士からの指導を受け、日常生活の中で入居者それぞれが可能な限り自立し、安全に生活できるよう支援しました。

5. 短期入所サービスについて

- ・ 利用者の状況や家庭での生活に合わせた居室作りに配慮し、可能な限りその方に合った生活を送ることができるよう努めました。
- ・ サービス提供にあたっては、利用前の面談、利用毎の報告を行うことで、担当者や家族と情報を共有し、その情報を基に介護、看護等他職種間と連携を取りながら支援するよう心がけました。
- ・ 換気の時間を利用した体操や、余暇活動として歌詞カードを見ながら歌を歌ったり、おやつ作りをしたりして楽しく過ごしていただくことができるよう配慮しました。
- ・ 新規に受け入れた利用者が定期利用に繋がるケースが多くあり、稼働率を向上することができました。

ケアプランセンターにしだて事業報告

1. ケアプラン作成について

- ・ 尊厳を持って自分らしい生活を送ることができるよう、自立支援にむけたケアプラン作成を行いました。
- ・ 介護保険制度やサービス事業等について、分かりやすい説明、適切な情報提供を行いました。
- ・ 今年度、町のケアプラン点検を受けました。

2. 他機関との連携について

- ・ サービス提供事業所からの情報収集と情報の共有化を図り、より良い支援に繋がるように努めました。
- ・ 行政機関や民生児童委員等からも随時協力をいただき、可能な限り個々に合わせた支援を行いました。又、地域の社会資源を有効に活用できるように情報の把握に努めました。
- ・ 疾病を抱えながらも、不安なく希望する場所での生活が続けられるように、医療機関との連携を図りました。

3. 研修について

- ・ 書面での研修やオンライン等、新しい学びの方法を取り入れて、利用者を取り巻く様々な状況に対応できるように自己研鑽に努めました。

令和2年度 特別養護老人ホームにしだて利用者の状況

1. 地区別状況

	吹浦	高瀬	遊佐	蕨岡	稻川	西遊佐	合計
男	3	0	1	1	0	1	6
女	8	3	6	4	1	1	23
合計	11	3	7	5	1	2	29

2. 入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	1	2	0	0	1	0	0	1	0	0	5
	合計	0	0	1	2	0	0	1	0	0	1	0	0	5
退所	男	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4
	合計	0	0	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0	5

3. 年齢別状況

	~64歳	~69歳	~79歳	~89歳	~99歳	~109歳	合計
男	0	0	1	2	3	0	6
女	0	0	0	8	14	1	23
合計	0	0	1	10	17	1	29
平均年齢 89.8歳		最高齢 100歳		最年少 72歳			

4. 介護度別状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男	0	1	2	0	3	6	3.8
女	2	3	7	5	6	23	3.4
合計	2	4	9	5	9	29	3.5

5. 医療受診状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	通院		1		1	1					2			5
	入院	18		23	1									42
外科	通院	1		1						1		1		4
	入院	15	31	5										51
整形	通院											1		1
	入院													
泌尿器	通院	5	5	4	5	4	8	3	5	5	5	4	6	59
	入院													
精神科	通院													
	入院													
眼科	通院													
	入院													
歯科 口腔外科	通院													
	入院													
脳神経 外科	通院													
	入院													
婦人科	通院													
	入院													
乳房外来	通院			1										1
	入院													
皮膚科	通院	2												2
	入院													
月計	通院	8	6	6	6	5	8	3	6	5	8	5	6	72
	入院	33	31	28	1									93

※H30～R1年度入院者数 59

※H30年度入院者数 257

※H29年度入院者数 118

6. 短期入所利用状況（定員10名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用延べ人数	193	239	206	232	252	226	206	199	222	218	213	256	2662
1日平均	6.4	7.7	6.9	7.5	8.1	7.5	6.6	6.6	7.2	7.0	7.6	8.3	7.3
稼働率(%)	64.3	77.1	68.7	74.8	81.3	75.3	66.5	66.3	71.6	70.3	76.1	82.6	72.9
前年度延べ人数計	212	218	212	226	240	230	205	216	204	196	205	155	2519
" 1日平均	7.1	7.0	7.1	7.3	7.7	7.7	6.6	6.8	6.6	6.3	7.1	5.0	6.9
" 稼働率(%)	70.7	70.3	70.7	72.9	77.4	76.7	66.1	72.0	65.8	63.2	70.7	50.0	68.9

令和2年度 ケアプランセンターにしだて利用者の状況

1. ケアプラン作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	71	76	74	75	75	77	76	73	68	69	73	74	881
うち新規	4	4	1	5	3	3	2	2	1	1	0	3	29
介護予防作成件数	15	16	16	15	16	16	16	15	14	14	14	14	181
前年度作成件数	86	88	84	83	79	80	82	79	78	75	70	69	953
〃介護予防作成件数	15	14	15	14	13	11	10	9	8	8	8	9	134

2. 介護度別状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	27	27	27	29	28	30	29	30	26	27	31	31	342
要介護2	22	23	21	24	22	21	21	20	20	20	20	20	254
要介護3	16	16	15	15	16	16	14	15	15	15	15	17	185
要介護4	3	6	8	4	4	5	6	4	4	4	4	4	56
要介護5	3	4	3	3	5	5	6	4	3	3	3	2	44
総人數	71	76	74	75	75	77	76	73	68	69	73	74	881
平均介護度	2.1	2.2	2.2	2.0	2.1	2.1	2.2	2.1	2.2	2.1	2.0	2.1	2.1

令和2年度 ボランティア受入れ状況

月 日	個人及び団体（敬称略）	摘 要	延人数
	実績なし		
ボランティア受入れ年間延べ人数			0

令和2年度 実習生受入れ状況

月 日	個人及び団体（敬称略）	摘 要	延人数
	実績なし		
実習生受入れ年間延べ人数			0

7. 給食状況

区分	栄養量						給食費				給食延人数 人
	エネルギー kcal	タンパク質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄 mg	レチノール活性 性当量 $\mu\text{g}/\text{RAE}$	ビタミンB ₁ mg	ビタミンC mg	総合 円	1人1ヶ月平均 1人1日平均 円	
4月	1567	58.5	43.5	529	8.0	643	0.81	87	880, 971	26, 298	877
5月	1564	57.9	44.2	507	7.1	633	0.78	79	903, 430	26, 004	839
6月	1455	54.9	42.5	522	7.4	636	0.75	79	847, 457	25, 023	834
7月	1483	55.7	43.3	495	7.2	665	0.81	76	892, 831	26, 095	842
8月	1499	56.7	43.4	518	6.8	622	0.78	80	935, 424	25, 961	837
9月	1448	54.3	38.5	498	7.2	622	0.76	72	903, 606	25, 760	859
10月	1451	54.9	39.9	461	6.6	639	0.74	77	899, 670	26, 245	847
11月	1505	56.7	42.1	519	7.5	669	0.78	80	888, 787	25, 638	855
12月	1498	58.0	39.6	530	7.6	666	0.78	84	885, 670	25, 942	837
1月	1497	57.4	41.5	487	7.0	639	0.79	81	914, 573	26, 219	846
2月	1506	56.9	43.2	496	7.6	702	0.77	74	818, 040	23, 168	827
3月	1471	56.5	42.4	522	7.5	653	0.82	86	930, 820	25, 833	833
合計	17944	678.4	504.1	6084	87.5	7789	9.37	955	10, 701, 279	308, 186	10132
月平均	1495	56.5	42.0	507	7.3	649	0.78	80	891773	25682	844
											3169

1人1日当たり荷重平均栄養所要量						朝食 円	昼食 円	夕食 円	給食費の割合
エネルギー kcal	タンパク質 g	脂質 g	カルシウム mg	鉄 mg	レチノール活性 性当量 $\mu\text{g}/\text{RAE}$				
1495	56.5	42.0	507	7.3	649	0.78	80	206	346

令和2年度防災活動報告

月日	訓練内容	点検	会議	備考
4月	22日 職員通報訓練	・非常食期限点検 ・電話連絡網、火災一 斉メール	16日 防災委員会	
5月	21日 通報避難訓練 (昼間時想定) ・消火器訓練※・ 自家発電機作動訓練	・火災一斉メールシステム	18日 防災委員会	※消火器訓練 ・水消火器4本使用
6月	11日 不審者対応訓練 ※		18日 防災委員会	※不審者対応訓練 ・書面での手順確認
7月	21日 総合避難訓練 (夜間時想定) ・消火器訓練	・非常食期限点検 ・火災一斉メールシステム	16日 防災委員会 30日 法人全体防災会 議※	※法人全体防災会議 ・BCP・総合避難訓練実 施状況説明
8月			20日 防災委員会	・総合避難訓練の反省等
9月	不審者対応訓練※ 18日 庄内特養防災ネ ットワーク訓練(被災施 設:芙蓉荘想定)		17日 防災委員会	※不審者対応訓練 ・9月中に部署毎実施
10月	14日 地震・風水害・ 土砂災害等、非常災害対 策避難訓練・BCP発動 訓練・安否確認メール訓 練	・防災設備保守点検 ・防災自主点検 ・非常食期限点検	15日 防災委員会	
11月	15日 夜間想定避難手 順訓練		19日 防災委員会	
1月	26日 無断外出者搜索 電話連絡網発信訓練	・防災自主点検	21日 防災委員会	・予算編成打合せ
2月	17日 庄内特養防災ネ ットワーク訓練(被災施 設:松濤荘想定)		18日 防災委員会	・通報・物資搬送

◀令和2年度特別養護老人ホームにして月別実施状況▶

部門 月	管理・防災	給食	研修	にじだて ケアプラン
4月	④開所記念日 ⑤職員通報訓練(火災一斉メール) ⑥夜間想定時通報避難訓練(消火器を使用しての消防訓練、発電機訓練) ⑦運営推進会議(書面会議) ⑧なんでも相談日 ⑨不審者対応訓練	開所記念行事食 お花見献立	②新任職員研修 ③特養連絡協議会 ④法令遵守、避難経路、介護の基本、身体拘束、虐待	①お花見会 ②入所者検診(血液検査) ③総会(書面決議)
5月	⑩運営推進会議(書面会議) ⑪なんでも相談日 ⑫不審者対応訓練	春祭り献立 端午の節句献立	⑤医療サポート研修会 ⑥散歩(～10月末まで) ⑦職員検診(センター受診)	自立支援型地域ケア会議(事例検討) ケアマネ定例会
6月	⑬なんでも相談日 ⑭夏祭り ⑮夜間想定時通報避難訓練 ⑯職員通報訓練(火災一斉メール)	笹巻き献立	⑧役員会 ⑨夏祭り ⑩疾患別血液検査	自立支援型地域ケア会議(事例検討) ケアマネ定例会
7月	⑰なんでも相談日 ⑱敬老会 ⑲広報発行 ⑳ワックス掛け ㉑運営推進会議	七夕献立 土用の丑献立 夏祭り行事食	⑪介護の基本について ⑫感染対策について ⑬高齢者介護関係職員研修2 ⑭リハビリテーション研修 ⑮社会福祉専門講座2 ⑯AED・心肺蘇生について ㉒看取りについて ㉓感染症・食中毒研修会(オンライン) ㉔介護現場でのハラスマントへの対応 ㉕社会福祉施設におけるリスクマネジメント⑥在宅医療研修会	自立支援型地域ケア会議(事例検討) ケアマネ定例会
8月	㉖なんでも相談日 ㉗敬老会 ㉘広報発行 ㉙秋彼岸献立	お盆献立	㉐故老会 ㉑疾患別血液検査	自立支援型地域ケア会議(事例検討) ケアマネ定例会
9月	㉚不審者対応研修 ㉛職員通報訓練(火災一斉メール)	芋煮会行事食 秋彼岸献立	㉒コミュニケーション向上研修 ㉓食事介助場面のアセスメントと対策の実践 ㉔感染発生時の対応について ㉕伝達研修	自立支援型地域ケア会議(事例検討) ケアマネ定例会
10月	㉖運営推進会議 ㉗なんでも相談日 ㉘日直想定通報避難訓練・発電機訓練	芋煮会行事食	㉖職員検診(センター受診) ㉗入所者検診(胸部レントゲン) ㉘イワシエサ*予防接種(職員・入所者)	自立支援型地域ケア会議(事例検討) ケアマネ定例会
11月	㉙運営推進会議 ㉚なんでも相談日 ㉛日直想定通報避難訓練	秋の味覚献立 冬至かぼちゃ献立 七草献立	㉙クリスマス会 ㉚新年会 ㉛新任職員研修 ㉜冬至かぼちゃや献立 ㉝正月献立 ㉞七草献立	自立支援型地域ケア会議(事例検討) ケアマネ定例会
12月	㉜運営推進会議 ㉝新年会	クリスマス献立 大黒様献立 冬至かぼちゃや献立 七草献立	㉟施設長研修会、相談員会議 ㉟節分 ㉟新年会 ㉟クリスマス会プレゼント ㉟疾患別血液検査	自立支援型地域ケア会議(事例検討) ケアマネ定例会
1月	㉞なんでも相談日 ㉟地震時通報避難訓練 ㉟職員通報訓練(安否確認メール)	節分献立	㉟ひな祭り ㉟疾患別血液検査 ㉟役員会	自立支援型地域ケア会議(事例検討) ケアマネ定例会
2月	㉞なんでも相談日 ㉟地震時通報避難訓練 ㉟職員通報訓練(安否確認メール)	ひな祭り献立 春彼岸献立	㉟誕生日献立(毎月) ㉟希望献立(毎月) ㉟おやつ作り(随時各ユニット) ㉟食事サービス委員会(4.7.10.1月第4火) ㉟喫茶(毎月)	自立支援型地域ケア会議(事例検討) ケアマネ定例会
3月	㉟企画会議 ㉟入所検討委員会(奇数月) ㉟防災委員会・広報活動委員会(始時) ㉟省エネ委員会(4.6.10.1月第1木) ㉟保健衛生委員会(4.7.10.1月第3火) ㉟サービス向上委員会(毎月第2火) ㉟地域交流委員会(随時)	誕生日献立(毎月) 希望献立(毎月) おやつ作り(随時各ユニット) 食事サービス委員会(4.7.10.1月第4火) 喫茶(毎月)	㉟県社協施設職員研修(高齢者介護関係職員研修・社会福祉専門講座)、医療サポート研修会 ㉟PT指導訓練㉟歯科医往診 ㉟糖尿病検査採血 ㉟理容日(奇数月第1火)	自立支援型地域ケア会議(事例検討) ケアマネ定例会
月例 随時	㉟企画会議 ㉟入所検討委員会(奇数月) ㉟防災委員会・広報活動委員会(始時) ㉟省エネ委員会(4.6.10.1月第1木) ㉟保健衛生委員会(4.7.10.1月第3火) ㉟サービス向上委員会(毎月第2火) ㉟地域交流委員会(随時)	誕生日献立(毎月) 希望献立(毎月) おやつ作り(随時各ユニット) 食事サービス委員会(4.7.10.1月第4火) 喫茶(毎月)	㉟内科回診(月2木) ㉟精神科回診(月1回) ㉟PT指導訓練㉟歯科医往診 ㉟糖尿病検査採血 ㉟理容日(奇数月第1火)	自立支援型地域ケア会議(事例検討) ケアマネ定例会